

問1 しゅう集車が家庭から集めたごみを、最終的に清掃工場へ運ぶのはなぜですか。

1. ごみを外に捨てるため 2. ごみを細かく分けるため 3. ごみを適切に処理するため 4. ごみを家まで届けるため

問2 エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの大きな家電製品を捨てる時、法律によって決められた正しい捨て方はどれですか。

1. 販売店に引き取りを依頼する 2. 地域の粗大ごみとして出す 3. 自分で細かく壊して燃えるごみに出す 4. 近くの公園に置いておく

問3 私たちが家庭で使う水を大切にするために、日常生活の中で自分から進んでできる「節水」の工夫として、もっともふさわしいものはどれですか。

1. 歯をみがいている間は、蛇口をこまめに閉める 2. トイレに、溶けにくいゴミをいっしょに流す 3. 洗濯の回数を増やして、いつもきれいな水を使う 4. 庭にまく水として、新しい水道水をたくさん使う

問4 ある町では、何年もかけて住む人の数（人口）がふえ続けています。このとき、町の水の使用量はどのようになっていると考えられますか。

1. 水の使用量は変わらず、ずっと一定である 2. 人口がふえると、水の使用量は自動的に半分になる 3. 人口がふえた分だけ、水の使用量も必ずふえる 4. 節水の工夫などにより、水の使用量は減ったり、横ばいになったりすることがある

問5 どうして物をそのまま捨てるのではなく、「リサイクル」をする必要があるのでしょうか。もっとも大切な理由を選びましょう。

1. ゴみを減らして、地球の限られた資源を大切に使うため 2. ゴみを燃やすと、火事の原因になることがあるから 3. 新しい製品を作ると、工場の人たちが疲れてしまうから 4. ゴみ収集の車を減らして、交通ルールを守るため

問6 水の流れを利用して電気を作る方法を何といますか。

1. 火力発電 2. 太陽光発電 3. 水力発電 4. 原子力発電

問7 下水処理場でしっかりときれいにした水は、どのような場所に利用されることがありますか。

1. 家庭用の水道から出る飲み水 2. 学校の給食に使う料理用の水 3. 競技場などの施設で使う水 4. 私たちがそのまま飲むための水

問8 ごみを捨てる時に、スチール缶やペットボトルなどを種類ごとに分けて出す「分別（ぶんべつ）」をするのはなぜですか。

1. ごみを集めるトラックの燃料が安くなるから 2. 燃えるごみの量が増えて、燃やすのが簡単になるから 3. 分別するとごみの全体の重さが軽くなり、持ち運びやすくなるから 4. ごみを資源として再利用し、捨てるごみを減らせるから

問9 スーパーで買った豆腐の容器には、リサイクルするためにどのようなマークが表示されていますか。

1. アルミ缶マーク 2. 紙マーク 3. ペットボトルマーク 4. プラマーク

問10 火力発電で使われる石油や石炭などの化石燃料を使い続けると、将来どのような問題が起きると考えられていますか。

1. 燃料が枯渇する 2. 火力が弱くなる 3. 地球が寒くなる 4. 電気がすぐになくなる

問11 お店で買い物をするとき、お店の人からのレジ袋をこたわることは、4Rのうちのどれにあてはまりますか。

1. リデュース 2. リフューズ 3. リサイクル 4. リユース

問12 清掃工場でごみを燃やしたあとに残る「灰」は、最終的にどうなりますか。

1. 肥料として農家で使われる 2. また燃やして電気を作る 3. 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる 4. そのまま川や海に流す

問13 料理をする時の火や、お風呂のお湯をわかす時の熱など、生活に必要なエネルギーをすべて「電気」だけでまかなう住宅のことを何といますか。

1. エネルギー工場 2. スマートハウス 3. エコ住宅 4. オール電化

問14 一度使った水を、きれいにしてから再び使うことを何といますか。

1. 水の作り出し 2. 水の飲み捨て 3. 水の再利用 4. 水の蒸発

問15 台所から出る油や生ごみをそのまま下水道に流してはいけない一番の理由は何でしょう。

1. 下水道管の掃除をする人が、油や生ごみの処理を嫌がるから 2. 下水道管が詰まったり、川や海が汚れたりする原因になるから 3. 下水処理場は、どんなものでもすぐに分解してきれいにしてできるから 4. 油や生ごみは、下水道料金を高くするもとなるから

問16 家庭から出されたごみや資源を回収して、清掃工場まで運ぶために使われる特別な車を何といますか。

1. きゅうきゅう車 2. はしご車 3. じょうよう車 4. しゅう集車

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 3 ごみを適切に処理するため	私たちが日常生活で出すごみは、そのまましておくとも町が汚れてしまいます。しゅう集車で清掃工場へ集めることで、ごみを燃やしたりリサイクルしたりと、適切に処理して町を衛生的に保つことができるからです。
問2	答え 1 販売店に引き取りを依頼する	家電リサイクル法では、これらの大型家電は資源として再利用することが決められています。そのため、地域の粗大ごみとして捨てるのではなく、購入した店や買い替えをする店などに引き取りを頼み、メーカーが責任を持ってリサイクルする仕組みになっています。
問3	答え 1 歯をみがいている間は、蛇口をこまめに閉める	水を大切に使うためには、必要な分だけをむだなく使う心がけが大切です。歯みがき中に水を流しっぱなしにすると多くの水が無駄になってしまいます。ふろの残り湯を洗濯に利用したり、水が必要ない時には蛇口を閉めたりする小さな積み重ねが、大切な水資源を守ることにつながります。
問4	答え 4 節水の工夫などにより、水の使用量は減ったり、横ばいになったりすることがある	人口がふえると水の使用量も自動的に増えると思われがちですが、実際にはそうとは限りません。人々が毎日の生活の中で節水を心がけたり、工場などで水を再利用したりする工夫が進んでいるため、人口が増えても全体としての水の使用量は減ったり、横ばいになったりすることがあります。資源である水を大切にすることの社会的意識が高まっている証拠です。
問5	答え 1 ゴミを減らして、地球の限られた資源を大切に使うため	使い終わったものを再び原料として使うことで、新しく作るために使う資源を節約できます。また、ゴミとして埋め立てる量を減らすことで、環境を守ることにもつながります。
問6	答え 3 水力発電	高いところから低いところへ流れる水の力を使って、大きな機械（タービン）を回して電気を作る仕組みです。自然のエネルギーを利用した発電方法のひとつです。
問7	答え 3 競技場などの施設で使う水	下水処理場で浄化された水は、トイレの洗浄水や、競技場などの施設で使う水として活用されることがあります。ただし、一度使った水をきれいにしているとしても、私たちが普段飲んでいる水道水とは別の目的で使われます。
問8	答え 4 ごみを資源として再利用し、捨てるごみを減らせるから	資源となるごみを正しく分別すると、それらを再び新しい製品の材料（資源）にすることができます。これにより、ごみとして燃やされたり埋め立てられたりする量を減らすことができるため、環境を守るための重要な活動となります。
問9	答え 4 ブラマーク	豆腐の容器のようなプラスチック製の容器包装には「ブラマーク」が表示されています。素材ごとに決められたマークを確認することで、適切にリサイクルに回すことができます。
問10	答え 1 燃料が枯渇する	地球上にある石油や石炭などの燃料は、無限にあるわけではありません。人間が使い続けると、いつかなくなる（枯渇する）可能性が高いため、新しいエネルギー源を探ることが大切になっています。
問11	答え 2 リフューズ	リフューズとは、ごみになるものを最初から受け取らない、つまり「断る」ことを指します。レジ袋などを断ることは、ごみを増やさないための大切な行動です。
問12	答え 3 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる	ごみを燃やすと、燃え残った灰が発生します。この灰の一部はセメントの材料などにリサイクルされますが、リサイクルできない残りの多くは「最終処分場」と呼ばれる埋め立て地に運ばれて埋められます。
問13	答え 4 オール電化	オール電化とは、家の中で使うエネルギーをすべて電気にまとめる仕組みのことです。台所での料理や、お風呂の給湯にガスや灯油を使わず、電気のみだけで生活を行うのが特徴です。
問14	答え 3 水の再利用	限りある水資源を大切にするため、工場で機械を冷やすために使った水などをきれいにし、もう一度使うことを「水の再利用」といいます。一度使った水も、適切に処理することで、再び役に立つ資源に生まれ変わります。
問15	答え 2 下水道管が詰まったり、川や海が汚れたりする原因になるから	油や生ごみをそのまま流すと、管の中で固まって詰まりの原因になったり、下水処理場の浄化能力を超えてしまい、十分にきれいにされないまま川や海へ流れて環境汚染を引き起こしたりします。下水道は魔法のように何でも消せる場所ではなく、一人ひとりの意識が大切です。
問16	答え 4 しゅう集車	しゅう集車は、町のごみを効率よく集めて運ぶために作られた特別な車です。この車があることで、家庭から出たごみが素早く清掃工場へ運ばれ、町の中をきれいに保つことができます。